

令和6年度災害時外国人サポーター研修（第1回）報告

日時	令和6年6月22日（土） 午後2時～午後4時30分
場所	京都市国際交流会館 イベントホール、第1、2会議室、会館前広場
目的	地震などの大規模災害発生時に、外国籍市民自身が地域のサポーターとなりえることを認識するきっかけをつくり、日本人にもそのことを知ってもらふ。非常時に自分の身の安全を確保した上で、助けを必要とする人をサポートする方法を学び、取るべき行動を知るために、災害時に備えた各種訓練や講演を通じて学ぶ。
参加者	87名（日本人参加者：52名、外国人参加者：35名） 国籍内訳：イタリア、インドネシア、ウクライナ、オランダ、カナダ、カンボジア、コロンビア、スリランカ、台湾、ドイツ、ナイジェリア、バングラディッシュ、フランス、マレーシア、ミャンマー、ロシア、韓国、香港、中国、日本
内容	14:00 開会 14:10～15:10 「各種訓練」および「運営協議会（町内関係者）」 ① 起震車（前庭/京都市消防） 初期消火、応急処置（前庭/京都市消防） ② ガスメーター安全機能の説明、ポリエチレン管万華鏡作成（第1会議室/大阪ガス） ③ 雨量計、災害時に役立つアプリ等紹介（第2会議室/京都地方気象台） 15:15～16:30 「講演会」 講師 Galvanese Kuhlmann Leandro（ガルヴァネセ クールマン レアンドロ）氏 講演会テーマ：外国人から見た能登半島震災と日本の防災について学ぼう
主催	（公財）京都市国際交流協会
共催	（公財）京都府国際センター、JICA 関西、京都市、近畿地域国際化協会連絡協議会
協力	錦林東山学区自主防災会、錦林東山学区町内会、左京区役所地域力推進室、消防局予防部予防課、KPIC災害時外国人サポーター、kokokaボランティア、近畿地域国際化協会職員・ボランティア